

Let's study!

# 楽天スーパーSALEサーチ完全攻略

仕組み・申請方法・注意点を1枚でわかりやすく整理!

## 1 楽天スーパーSALEサーチとは

- ✓ 楽天スーパーSALE期間中だけ表示される特別な検索窓
- ✓ RMSの「イベント商品申請」から申請し、掲載条件を満たした商品のみ表示



### 半額サーチ

50% OFF

- ✓ 全SKUが50%以上OFF
- ✓ 商品下に「スーパーSALE半額」アイコン
- ✓ より強い訴求

¥5,000 → **¥2,500**  
スーパーSALE半額

### 割引サーチ

10% OFF

- ✓ 10%以上OFF
- ✓ 商品下に「スーパーSALE割引」アイコン
- ✓ 無理なく参加しやすい

¥5,000 → **¥4,000**  
スーパーSALE割引

### サーチを活用するメリット



#### アクセスUP

検索結果に表示され  
露出が増える



#### CTR向上

特別アイコンで  
クリック率が向上



#### 転換率UP

割引訴求で購買意欲が  
高まり成約につながる

#### SEO・レビュー蓄積



流入増でSEO強化&  
レビューも増える

💡 サーチ申請だけに頼らず、商品名・説明文・SEO・RPPも併用すると◎

## 2 申請方法

### ① 申請商品を選ぶ



- ・新品
- ・売れ筋商品
- ・季節商材
- ・リピート商材

### ② 商品設定を確認



- ・販売価格=SALE価格
- ・表示価格=元値  
元値に倣えるのは  
「当店通常価格」  
「メーカー推奨小売価格」  
「商品価格ナビ」
- ・販売期間=  
スーパーSALE期間内

### ③ RMSから申請



- RMS > 商品管理 >  
イベント商品申請
  - ・通常ページ申請
  - ・コピーページ申請
- コピーページの場合は  
コピー元の商品管理番号  
も入力

### ④ 審査



- ・1次チェック
- ・2次チェック
- ・両方通過で掲載

### ⑤ 結果確認



- ・メールは届かない
- ・RMS画面で確認

📅 申請は開催の約3週間前~約1週間前。早めの申請がおすすめ!

## 3 注意点

### A SKU移行後の最重要ポイント



- ✓ 合否は「商品単位」でも審査は「SKU単位」でチェック
- ✓ 1SKUでも割引率・販売実績・在庫条件が不足すると商品ページ全体が**不合格**になることも
- ✓ 1商品ページに表示できるセールアイコンは**1種類**のみ
- ✓ 半額サーチに出すには全SKUが50%以上OFFである必要あり

例: SKU1 (50% OFF) + SKU2 (50% OFF) + SKU3 (20% OFF) → 商品ページ全体は「割引サーチ」扱い

🔍 販売実績・在庫状況もSKU単位で確認

📦 必要に応じてSKU単位で倉庫入れして審査対象SKUだけ申請できる場合あり

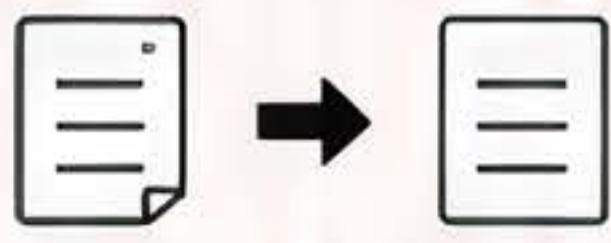
### B よくある審査落ちポイント

- 📅 販売期間がスーパーSALE期間外/未設定
- 💰 表示価格が「自動選択」または未設定
- 📊 割引率は小数点以下切り捨て(49.9%は半額にならない)
- 🧮 税込・税別設定は通常販売時と同じにする
- 🎫 値引きはクーポンではなく「直値引き」が必要

- 📋 予約商品・定期購入商品は事前確認
- 📄 コピーページとコピー元ページの内容不一致に注意
- 🖼️ 申請期間中のコピーページ画像変更は避ける
- ⚙️ 申請後のコピー元商品の設定変更は避ける

### C 販売実績の初期化に注意!

#### 1 商品ページまとめ



新規で追加したSKUの  
販売実績は初期化

#### 2 SKU管理番号の変更

12345 → 67890

変更するとそれまでの  
販売実績が初期化

#### 3 まとめ先ページの 既存SKU管理番号変更



元からあるSKUでも  
管理番号変更で実績初期化

⚠️ スーパーSALE前のページ統合・SKU変更は要注意!

### D 実務での攻略メモ

まずは入口商品を  
1~3商品に絞る



集中投資で成果を出す!

通常ページ申請+  
必要に応じてコピーページ  
販売も有効



機会損失を防ぐ!

半額が難しくても  
10%以上OFFの  
割引サーチを活用



参加のハードルを下げる!

セール後の  
SEO・レビュー・  
リピート獲得まで見極める



中長期で売上を伸ばす!

### 申請前 最終チェック

- 全SKUの割引率
- 全SKUの販売実績
- 全SKUの在庫切れ期間
- 表示価格の設定
- 販売期間の設定
- SKU管理番号変更の有無
- ページ統合の有無
- 必要に応じたSKU単位の倉庫入れ
- 申請後に余計な変更をしない

「商品ページが安い」  
だけではNG!  
「商品ページに紐づく  
全SKU」で確認するのが  
ポイント!

✨ 迷ったら早めに確認しましょう! Let's review!